特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

【東京都狛江市】

目的　**特別な支援を必要とする子供が就学前から学齢期、成人に至るまで切れ目なく適切な支援を受けながら社会参加と自立を目指す。**

市の課題

・わが子の障がいに気が付きながらも気持ちの整理ができず相談に至らない。また、様々な部署の相談窓口があり、どこに相談に行ったらよいかわからず、相談のタイミングを逸してしまう。

・行われていた相談や支援が就学や進学のタイミングで関わる機関や関係者が変わることにより途切れてしまう。

・義務教育修了後から成人に至るまでの公的な相談窓口がない。

目標　**特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、成人（社会参加）に至るまでの切れ目のない相談から支援につなげるための体制を構築する。**

課題における目標

・保護者の不安感に寄り添いながら必要な支援へつなげる相談窓口の設置

・成人（社会参加）に至るまでの継続した切れ目のない相談から支援へ
相談⇒早期療育支援⇒就学相談⇒就学・進学⇒教育相談・相談支援⇒必要な支援⇒社会参加・自立

取組内容及び成果

令和2年度に幼少期から成人（18歳未満）までのあらゆる相談に対応し、成長に合わせた切れ目のない支援につなげるための施設として市内に子育て・教育支援複合施設を整備し、同一建物内に子ども家庭支援センター・児童発達支援センター・教育支援センター（子育て・福祉・教育分野の一体化）を設置した。

取組1　同一建物による切れ目のない相談・支援体制の整備

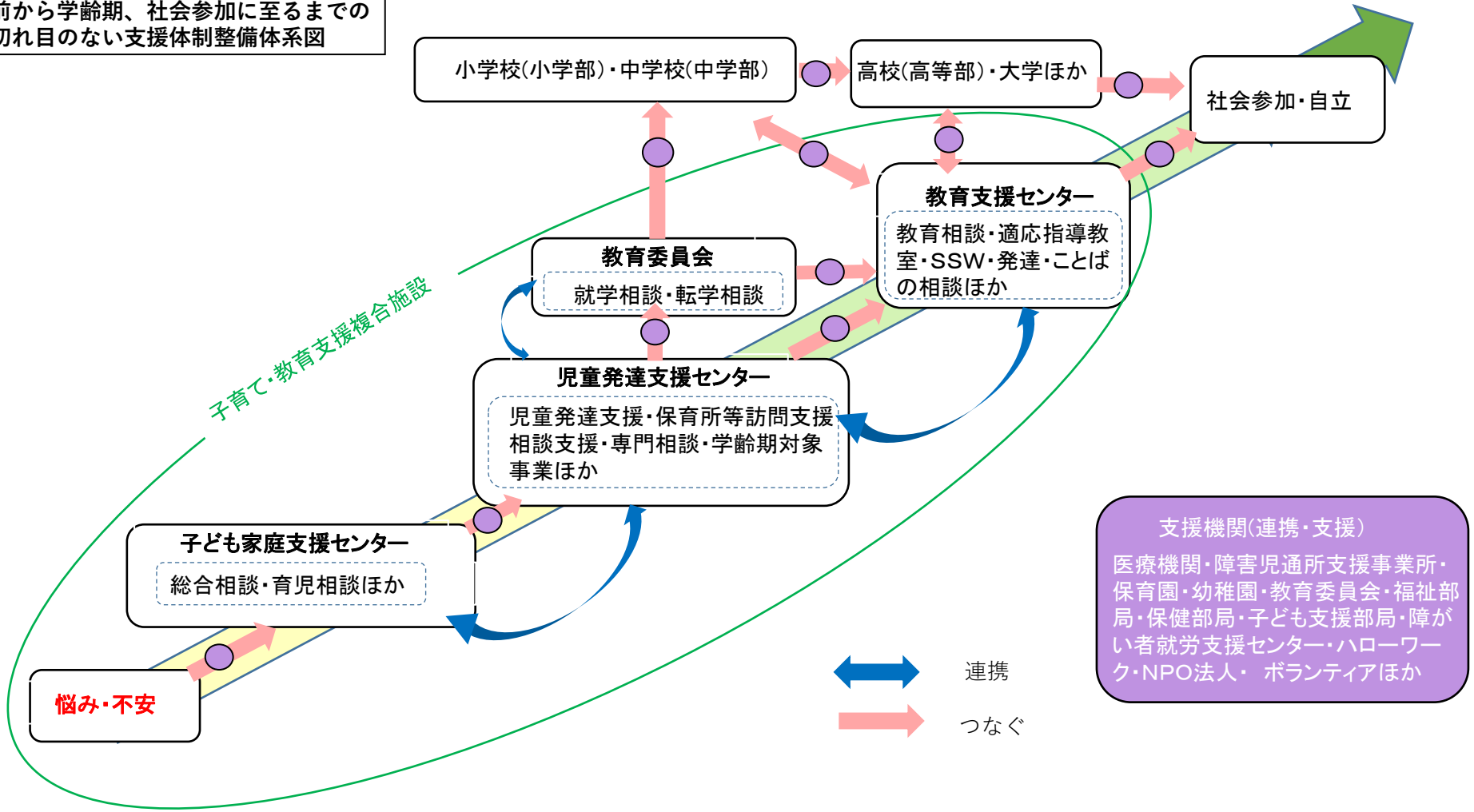
・ 同一建物に就学前から学齢期、成人に至るまでの相談機関が設置されたことにより、相談者があちらこちらの相談機関に出向く必要がなく継続的な相談から切れ目のない支援に結び付けることが可能となった。

・ 各支援センターの専門相談員や専門職が同一建物で業務を行うことにより、より緊密な連携が可能となり、複雑な課題を抱えるケースにお いて、各支援センターの専門家が関わることにより重層的な支援が可能となった。

取組2　システムによる一貫した相談・支援体制の整備

各支援センターの相談者の情報や支援内容をシステムでつなぐ事により、情報共有が可能となり、一貫した支援につながった。

取組3　切れ目のない相談・支援の周知

子育て・教育支援複合施設に関するパンフレットを作成し、切れ目のない相談・支援について周知を行った。

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加に至るまでの切れ目のない支援体制整備体系図